

子どものこころの支援をさぐる
—— 小学校統合を通して ——

1 設定理由

長南町は房総半島のほぼ中央に位置し、豊かな自然と歴史、文化に触れられる町である。しかし、少子高齢化による急激な人口減少傾向に伴い、児童数が減少したため、小中一貫型の学校として2014年町内4小学校の統合が決まり、2017年4月に統合された。

統合に向けて、町内4小学校の養護教諭は、統合後の保健室経営を円滑に行うため、効率的な事務手続きと子どものこころのケアについてとりくんだ。

4つの小学校が統合し新しくひとつの保健室になる。先が見えない現状であるが養護教諭として4月からの保健室経営をスムーズに進めることが、児童のこころにも寄り添い共感できると考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

仮説Ⅰ 児童を取り巻く環境が大きく変わる中で、児童のこころの変化に気づくことにより統合後の不安を減らすことができるであろう。

仮説Ⅱ 健康上管理が必要な児童の情報を正確に引き継ぐことにより、より安定した学校生活を送れるであろう。

仮説Ⅲ 保健関係の書式を統一することで、養護教諭の引き継ぎと執務を円滑に行うことができるであろう。

3 研究内容

(1) 統合前後の児童へのアンケートの実施・考察

(2) 保健関係の書類の統一と備品調査

(3) 引き継ぎファイルと一覧表の作成

4 結 論

統合に向けて、子どもたちが新しい環境に適應できるように、3つの仮説にもとづいて研究を進めてきた。

とりくみの成果は統合後のアンケート結果からも分かるように、多くの子どもたちが新しい環境に戸惑うことなく適應していることに現れている。

子どもたちのこころの変化をさぐるために計画的にアンケートを実施し、スクールカウンセラーとの連携も継続していきたいと考える。

今後も養護教諭として、今まで以上に子どもに寄り添い、教職員と保護者との連携を密にし、子どもの成長を見守っていきたい。

長生支部
長南町立長南小学校
松本 順子
長柄町立日吉小学校
森 幸子

子どものこころの支援をさぐる
小学校統合を通して

1 設定理由

長南町は房総半島のほぼ中央に位置し、豊かな自然と歴史、文化に触れられる町である。しかし、少子高齢化による急激な人口減少傾向に伴い、児童数が減少したため、2014年町内4小学校の統合が決まり、小中一貫型の学校として2017年4月に統合された。

統合に向けて、町内4小学校の養護教諭は、統合後の保健室経営を円滑に行うため、効率的な事務手続きと子どものこころのケアについてとりくんだ。

校舎の建設が始まりバス通学の具体的なルートが具現化される中で、保健室来室時の子どもの声から統合を楽しみにしている様子や不安の声がうかがえた。

4つの小学校が統合し新しくひとつの保健室になる。先が見えない現状であるが養護教諭として4月からの保健室経営をスムーズに進めることが、児童のこころにも寄り添い共感できると考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

仮説Ⅰ 児童を取り巻く環境が大きく変わる中で、児童のこころの変化に気づくことにより統合後の不安を減らすことができるであろう。

仮説Ⅱ 健康上管理が必要な児童の情報を正確に引き継ぐことにより、より安定した学校生活を送れるであろう。

仮説Ⅲ 保健関係の書式を統一することで、養護教諭の引き継ぎと執務を円滑に行うことができるであろう。

3 研究経過

年度	研究内容
2014	町内4小学校の保健関係の書類について調査 電子データの統一
2015	保健関係の書類の分類と統一 保健室備品の調査(リストアップ)
2016	小学校統合に関する心のアンケートの実施と考察 引き継ぎのための書類整備と一覧表の作成
2017	引き継ぎファイルと一覧表の活用 統合後のアンケートの実施と考察 実践のまとめ

4 研究内容

(1) 仮説Ⅰを受けたとりくみ

① 児童へのアンケートの実施（統合前）

ア 実施年月日 2016年7月中旬

イ 対象 長南町4小学校 1・2・3年122人

4・5年 97人（219人）

ウ 内容 統合前の子どもの気持ちについて（資料1，2-1・2・3）

（長南町生徒指導部会の実態調査）

エ アンケート調査の結果（一部抜粋）

新しい学校のことで心配なことや楽しみなことなどをおしえてください。

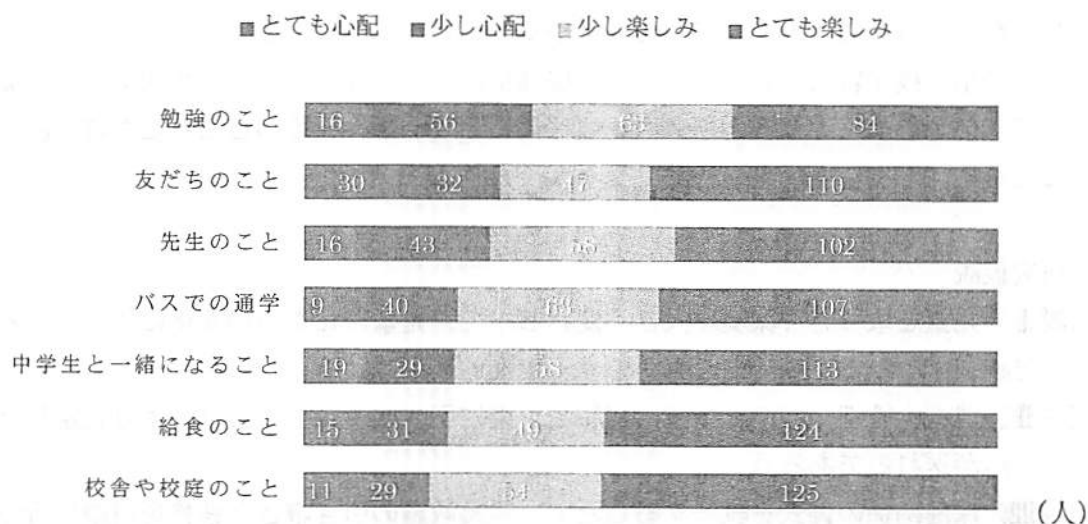


図1 統合前の子どもの気持ち

アンケートの結果からは、どの項目も半数以上は、新しい学校に行くことを楽しみにしていることが分かった。「友だちが増えることが楽しみ」「校舎が新しくなるから楽しみ」「中学校にきょうだいがいるから安心」「クラス替えが楽しみ」という声があげられた。

とても心配していることは、「友だちのこと」で、次に「中学生と一緒にいること」をあげていた。「とても心配」「少し心配」の割合が多い項目は、「勉強のこと」「友だちのこと」「先生のこと」があげられた。

アンケートの結果からは、楽しみにしていることは分かったが、保健室では「先生も行く?」「バス何時?」「中学生に会う?」等の心配や不安の声が聞かれた。来室する子どもからはとても素直で、思いもよらない声があった。

養護教諭としては、来室してくる子どもだけではなく、一人ひとりのこころの声を聴く機会を設ける必要があると考えた。

アンケートの結果「とても心配」「少し心配」の割合が多い項目に注目した。

○勉強のこと

最も子どもたちが心配していること
であり，高学年の割合が高かった。

【理由】

- ・ 先生が変わって，そのやり方についていけるか心配
- ・ 人数が多くなり勉強についていけるか心配

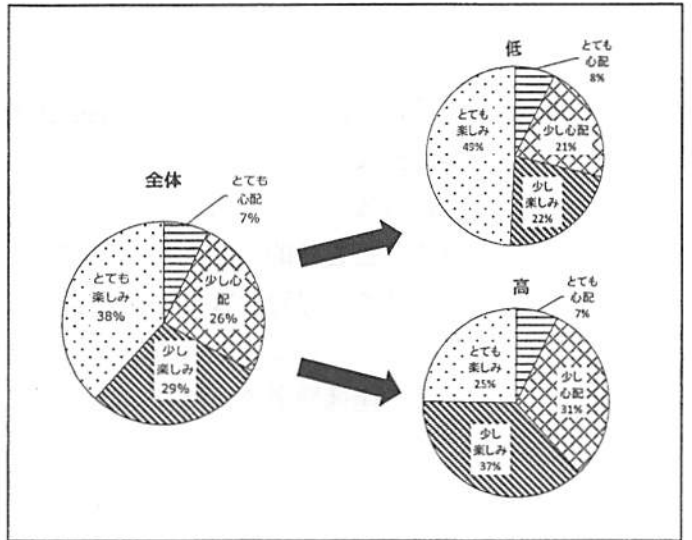


図2 勉強のこと

○友だちのこと

高学年の方が心配している割合が高かった。

【理由】

低学年

- ・ いじめられるかもしれない
- ・ みんなが仲良くしてくれるか
- ・ 今のクラスの友だちと別のクラスになること

高学年

- ・ 新しい先生や友だちと仲良くなれるか
- ・ 知らない人も多し，今のクラスの友だちとバラバラになったらいやだ
- ・ 変なあだ名を付けられるかもしれない

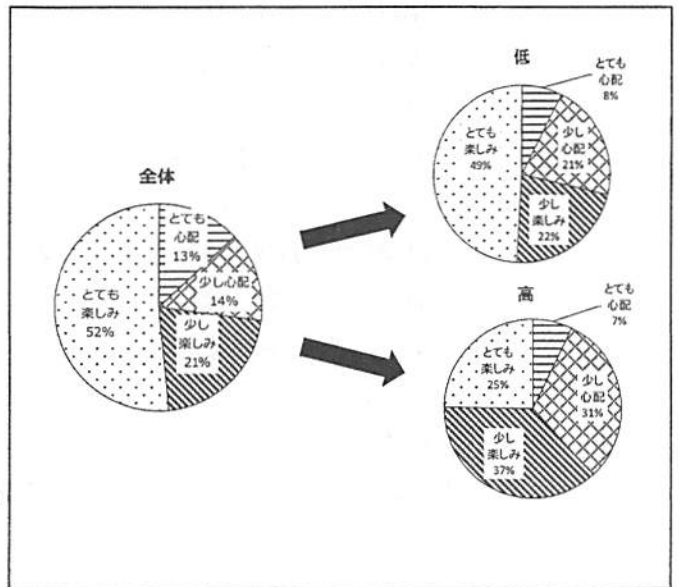


図3 友だちのこと

○先生のこと

友だちのことと同様に高学年の方が心配している割合が高かった。

【理由】

- ・ 優しい先生がいるか心配
- ・ 知らない先生ばかりだから心配

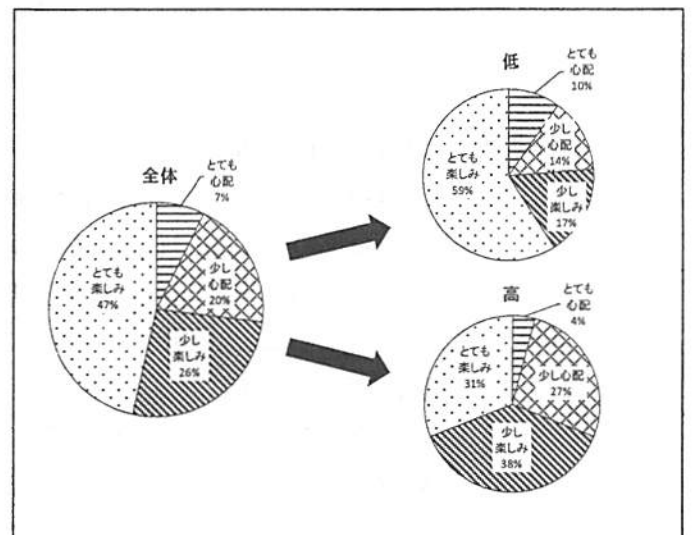


図4 先生のこと

② アンケート結果をうけたとりくみ

ア 全教職員でのとりくみ

統合に向けて2校ずつの小小連携授業や4校合同授業を行った。

統合後、スムーズにコミュニケーションがとれることを目的に計画的に実施した。

就学前は保育園等で一緒に過ごしたため、お互いのことをよく知っていたが小学校が別々になり、連携授業でまた一緒になることを楽しみにしていた。

特別支援アドバイザーによる指導を受けながら、子どもの理解と対応について、教職員間での共通理解に努めた。

保護者からの不安な声を受け止め、統合に向けて安心して学校生活を送れるように働きかけた。

イ スクールカウンセラーとの連携

アンケートの結果から、来室する子どもだけではなく、全校一人ひとりのこころの声を受け止めるためにスクールカウンセラーの協力を得て、面談を行った。

言葉で自分の気持ちを素直に表現できない子どものために、表情スケールを用いて面談を行った（資料3）。

また、担任や保護者に言えない心配事を抱える子どもについては、継続的に対応をしている。

保護者に対しては統合についてのこころのケアや、面談時の子どもの実態、保護者に心がけてほしい事等の内容で講演を依頼し、12月に実施した（資料4）。

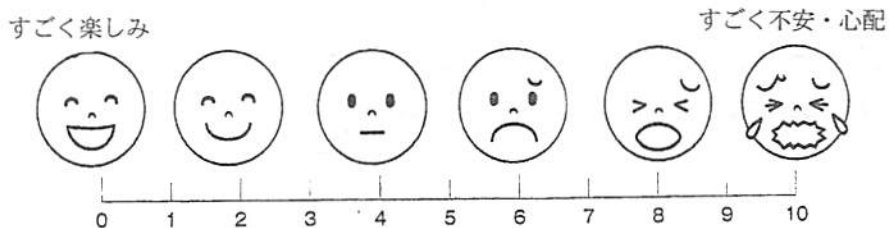


図5 表情スケール

ウ 教職員、保護者へのサポート

教職員の間では、統合に向けて準備をする中で、子どもの心配を始め、自分の異動先や新校舎へ期待する声が毎日聞かれた。

保健室には不安な気持ちを共有するために、多くの教職員が頻繁に訪れた。教職員の一言ひとことを傾聴し、先が見えない状況に寄り添った。

保護者に対しては、来校時に統合に関しての心配事を聞き、管理職に伝え情報を共有した。また、ケースによってはスクールカウンセラーを紹介し、面談を勧めた。

統合後も安心して学校生活を送ることができるように、対応を行った。

表1

【2校合同】

- ・ 自然体験
(野見金山体験,
ザリガニ釣り, 紅花染め)
- ・ 芝原人形作り
- ・ マラソン大会
- ・ 薬物乱用防止教室

【4校合同】

- ・ 芸術鑑賞会
- ・ 思春期健康教室
- ・ エイズ教室
- ・ 修学旅行

③ 児童へのアンケートの実施（統合後）

ア 実施年月日 2017年5月中旬

イ 対象 長南小学校 2・3・4・5・6年 218人

ウ 内容 統合後（1ヶ月）の子どもの気持ちについて（資料5）
（長南町生徒指導部会の実態調査）

エ アンケート調査の結果（一部抜粋）

1か月たって、困っていることや楽しいことなどをおしえてください

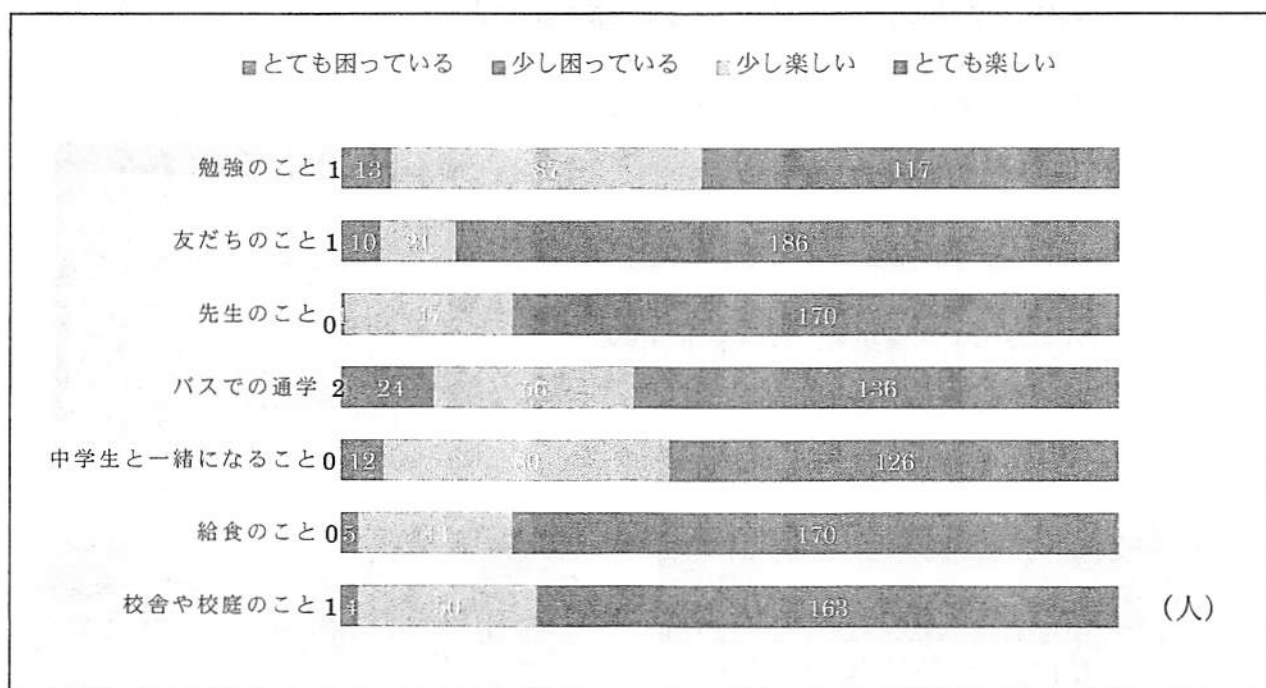


図6 統合後（1か月）の子どもの気持ち

「勉強のこと」「友だちのこと」についての心配はあるが、統合前よりかなり減少していることが分かった。

- ・ 友だちがたくさん増えた
- ・ 体育でできることが増えた
- ・ 給食をみんなで食べるとうれしい
- ・ いっぱいサッカーができる
- ・ 友だちと笑ったりできること

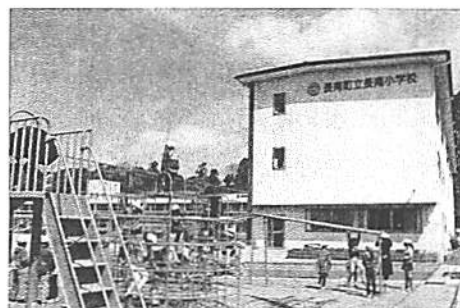


教室の人数が増えたことで、友だちと一緒に出来ることやみんなで楽しんだり喜んだりすることが増えた様だ。

「先生のこと」については、同じ学校からの異動が数名いたため、子どもの気持ちの中で心配が軽減され、安心して学校生活を送っていることが分かった。

【子どもたちの現状】

- ・ グラウンドが使いづらい(中学校と共有のため)
- ・ 好きなときに遊べない
- ・ 放送が紛らわしい
- ・ 教室が狭くて嫌だ
- ・ バス通学がづらい



(2) 仮説Ⅱを受けたとりくみ

① 特別支援アドバイザーとの連携

教室では見せない保健室での子どもの様子を担任に伝え、情報を共有した。また、専門機関の情報を多角的に集め、提示できるように準備した。

専門機関での結果をもとに、関係職員と話し合いの場を設けた。その際、処方された薬に関しては、専門的立場から相談にのった。

子どもを理解するために、特別支援アドバイザーの協力を得て、個別の支援計画と指導計画を作成した。保健室での情報を積極的に書き込み、情報を共有し、全教職員で活用している(資料6-1・2・3)。

子どもを理解するために、保健室からの情報はとても重要であると再認識した。

② 健康上管理が必要な子どもの一覧表の作成

一覧表を作成したことにより、経過観察や配慮が必要な子どもの情報を一目で確認できた。

また、保護者からの問い合わせにも、的確に対応することができた(資料7-1・2)。

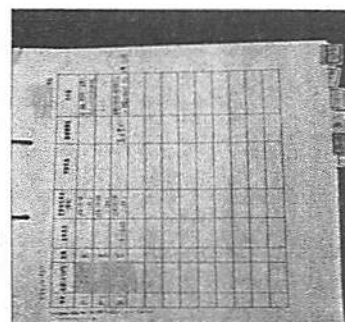


図7 一覧表

学年	名前(ふりがな)	性別	2024年判定人	運動制限の有無	発症状況	医療機関名	その他
6		女	B				
5		男	A	ホ	アレルギー(アレルギー)	アレルギー科	
5		男	A	ホ	アレルギー(アレルギー)	アレルギー科	
5		女	A	ホ	アレルギー(アレルギー)	アレルギー科	
5		女	A	ホ	アレルギー(アレルギー)	アレルギー科	
5		女	A	ホ	アレルギー(アレルギー)	アレルギー科	

図8 小児生活習慣病

学年	名前(ふりがな)	性別	アレルギーの経過	検査状況	学校での対応状況	学習状況	医療機関名
5		女	ピーナツ	アレルギー			
4		男	アレルギー	アレルギー			

図9 食物アレルギー

(3) 仮説Ⅲを受けたとりくみ

① 書類のファイリングの工夫

管内他地区が先行研究したファイリング方法を参考に、各学校書類の整理を行った。

必要な情報をファイリングし、電子データに保存することで事務の効率化を図った。

個々の調査物は個別の保健袋を作成し、4月に配布できるように準備した。

書類だけでなく、子どもを理解するための時間にもなった。

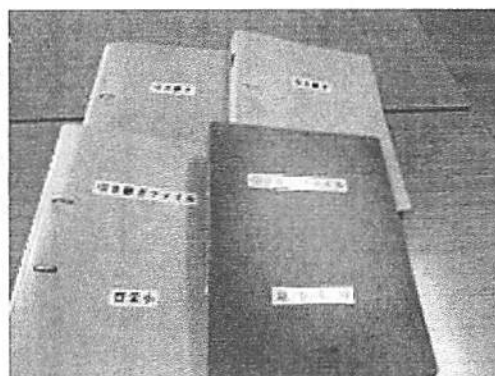


図10 引き継ぎファイル

② 新保健室の配置等の工夫

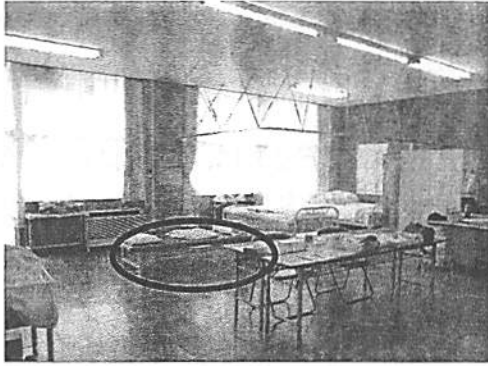


図11 A小学校保健室

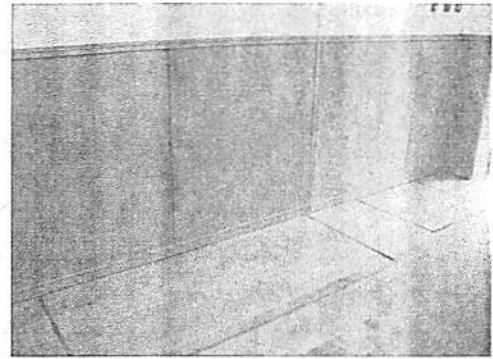


図12 配置予定場所

- ・ 保健室に必要な備品を、千葉県養護教諭会発行「執務の手引き」を参考に調査を行った。
- ・ 新保健室の大きさに合わせ、4校の保健室の中から最適な物を選んだ（資料8）。
- ・ 子どもたちにとって安らげる場所、また検診の動線を確保できるように、備品を考えて配置した。

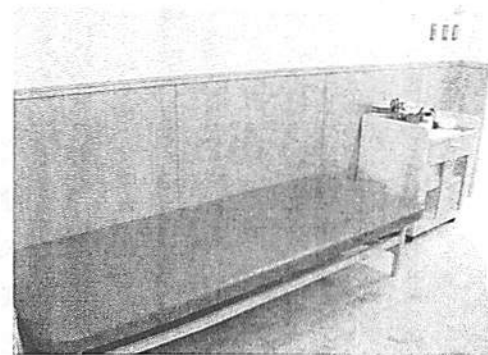


図13 配置後

5 成果

(1) 仮説Iについて

小規模の小学校が統合し、ひとつの小学校になることに、子どもたちは大なり小なり不安を抱えていたが、4校の養護教諭が日々寄り添い、対応したことが統合後の子どもたちの不安を減らす要因となり、新しい学校に多くの子どもたちがうまく適応できた。

一緒に異動してきた教職員からは、子どもたちに競争意識が生まれ、活気のある集団生活を送っている様子や、少人数での人間関係でつまずいていた子どもにも、新しい友だちができたことを喜んでいる声が聞かれた。

統合前に実施された小小連携授業や、4校合同授業を継続してきたことにより、子どもどうしのつながりが深まった。

気になる子どもについては、4月の身体測定の際に顔と名前を確認した。引き継ぎファイルと照らし合わせ、指導計画に生かしている。

保健室に来室する子どもには、手当てをしながら会話を楽しみ、関係づくりに努めている。また、休み時間には積極的に子どもと関わり、コミュニケーションにも努めている。

教職員との情報交換を大切にし、保健室からの情報と担任からの情報を全教職員で共有し、子どもを見守っている。

(2) 仮説Ⅱについて

特別支援アドバイザーからの指導を受け、個別の支援計画と指導計画を作成し、全教職員で共通理解をしたことでネットワークが広がり、多方面からの支援を受けることができた。

個別の支援計画や指導計画の引き継ぎが行われた子どもは、統合前からきめ細かい支援を受けていたため、統合という大きな環境の変化に順応している。しかし、以前に登校しぶりや保健室登校をしていた子どもの情報が不足していたため、統合後、適応できず配慮が必要な状況が現れている。

しかし、4校の保健室の個別記録をファイリングしたことで、子どもの対応について参考になった事案もあり、小さな案件にも目を向けて記録を残すことが、これからも必要だと実感した。

(3) 仮説Ⅲについて

統合後の事務の効率化をはかるために、管内他地区が先行研究したファイリング方法を参考に準備したことで、4月の健康診断をスムーズに進めることができた。時間的に余裕を持つことができ、保健室での対応にも生かすことができた。

特に、町内で健康上管理が必要な子どもの一覧表を作成したことにより、情報を一目で確認することができ役立っている。

備品については、新保健室に合わせ4校の保健室から最適な物を選び、子どもたちにとって安らげる場になるように配置した。保健室だけではなく、保健室前廊下にあるソファは子どもたちの憩いの場となっている。

6 まとめと今後の課題

統合に向けて、子どもたちが新しい環境に適応できるように、3つの仮説にもとづいて研究を進めてきた。

統合後のアンケート結果からも分かるように、多くの子どもたちは新しい環境に戸惑うことなくうまく適応している。統合前に4校の養護教諭が子どもたち一人ひとりにきめ細やかな対応をしてきたことが成果として現れている。

しかし、過去の登校しぶりや保健室登校の情報が引き継がれていれば、統合によってぶり返した状況の対応に役立ったと考えられる。過去の情報をデータ化し残していくなどの対応が今後の課題として残る。

今後も子どもたちのこころの変化をさぐるために計画的にアンケートを実施し、スクールカウンセラーとの連携を継続していきたいと考える。

養護教諭として、今まで以上に子どもたちに寄り添い、教職員と保護者との連携を密にし、子どもの成長を見守っていきたい。

参考文献

千葉県養護教諭会 「執務の手引き」(第四次改訂)

第65次長生教育研究集会 保健教育 引き継ぎファイルの作成 ー養護教諭の職務に関する調査からー2015

少年写真新聞社 古角好美著 ドタバタしなくてすむ養護教諭のための異動ファイル

研究同人(2014年度から2017年度)

松本 順子	森 幸子	常澄 裕美	大森 尚子	浅野 昌世
莉込ともみ	柴崎 朝子	石原ミナ子	加籐 愛子	深草 千幸
阿部 里美	勝地 美喜	前橋 沙耶	古市 千晶	

資料

ちやうなんまち しょうがつこう とうこう び
長南町4小学校 統合に向けてのアンケート

しょうがつこう
小学校 年 1 組

このアンケートは、みなさんがわくわくしたきもちで新しい小学校に行くことができるようにするためのものです。

あたらし がつこう しんばい たの
新しい学校のことで心配なことや楽しみなことなどをおしえてください。

	しんばい とても心配	すこ しんばい 少し心配	すこ たの 少し楽しみ	たの とても楽しみ
1 バスでの通学 <small>つうがく</small>	1	2	3	4
2 勉強のこと <small>べんきやう</small>	1	2	3	4
3 友だちのこと <small>とも</small>	1	2	3	4
4 先生のこと <small>せんせい</small>	1	2	3	4
5 給食のこと <small>きゆうしょく</small>	1	2	3	4
6 校舎や校庭のこと <small>こうしゃ こうてい</small>	1	2	3	4
7 中学生といっしょになること <small>ちゅうがくせい</small>	1	2	3	4
8 部活動のこと(4年生以上) <small>ぶかつどう ねんせい いじやう</small>	1	2	3	4

○ あたらし がつこう しんばい
新しい学校のことで、心配なことはありますか。

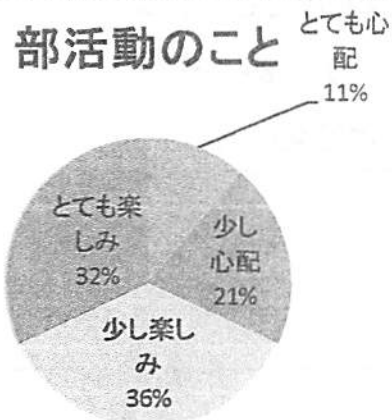
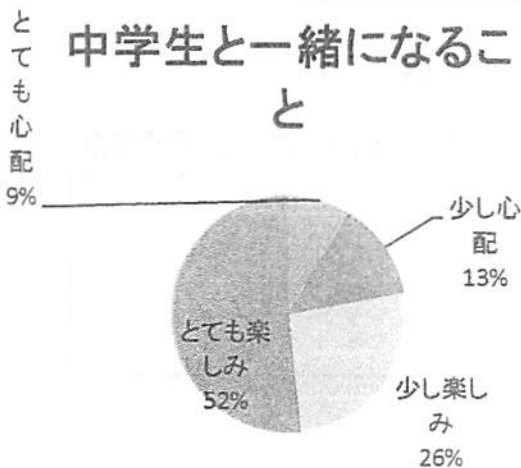
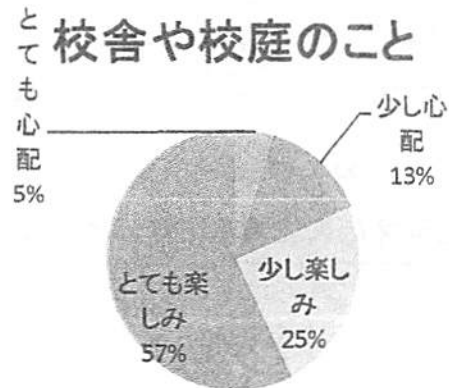
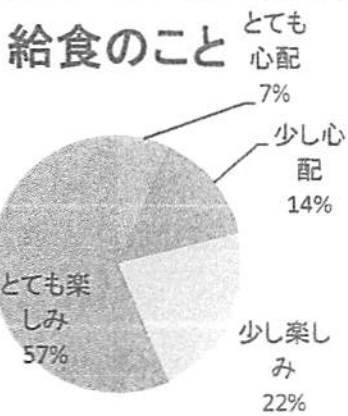
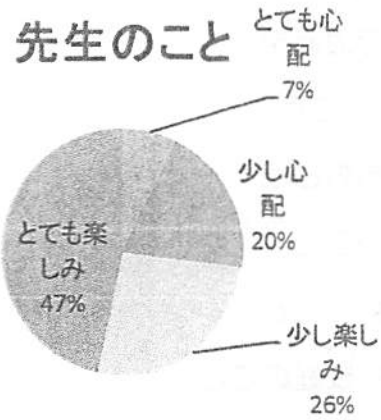
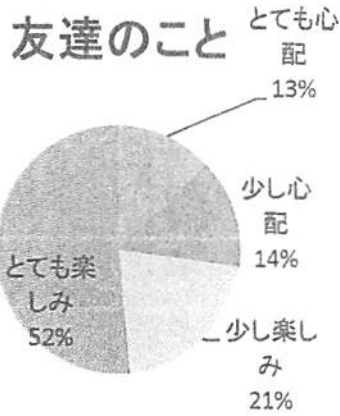
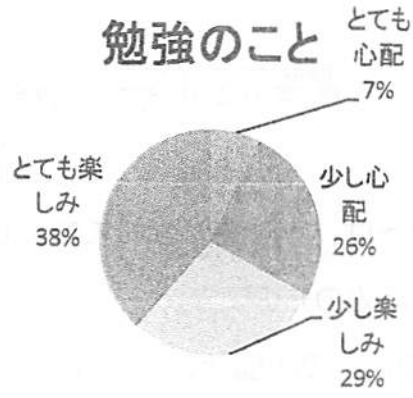
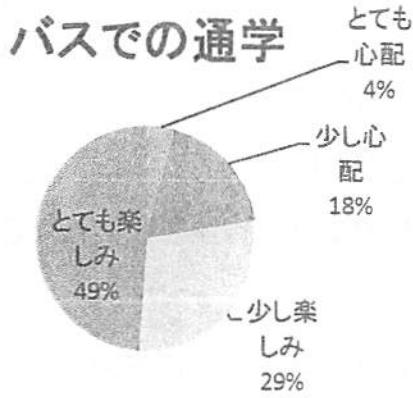
() ある () ない

○ 「ある」と答えた人にききます。どんなことですか。また、それはどうしてですか。

○ あたらし がつこう たの
新しい学校のことで、楽しみなことはありますか。

() ある () ない

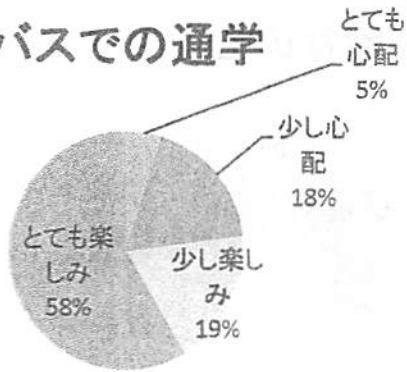
○ 「ある」と答えた人にききます。どんなことですか。また、それはどうしてですか。



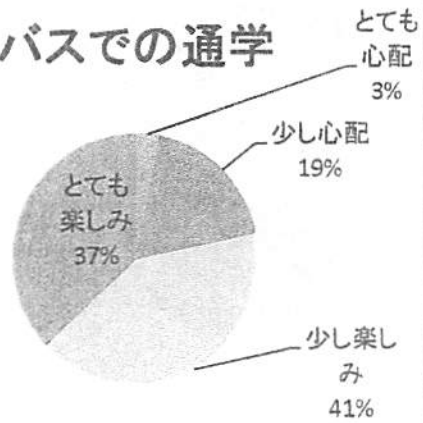
低

高

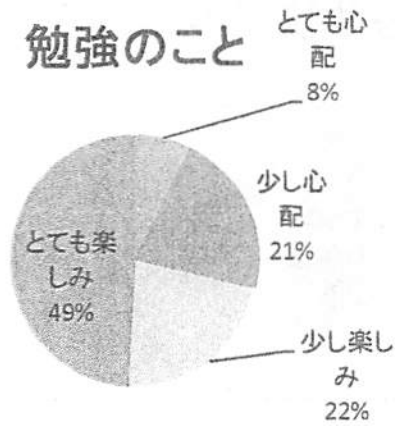
バスでの通学



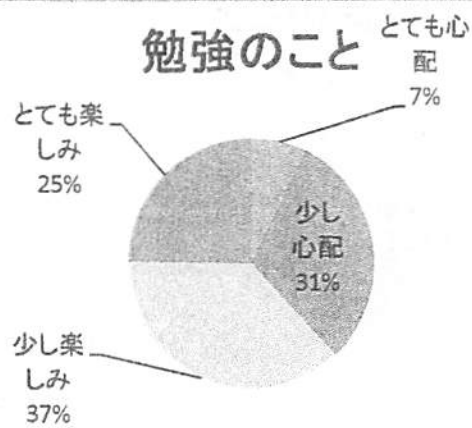
バスでの通学



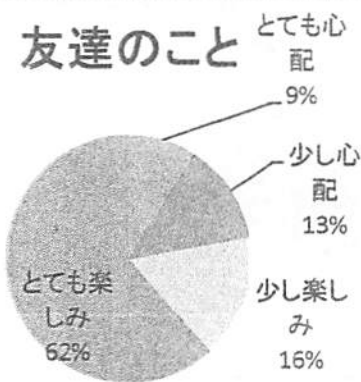
勉強のこと



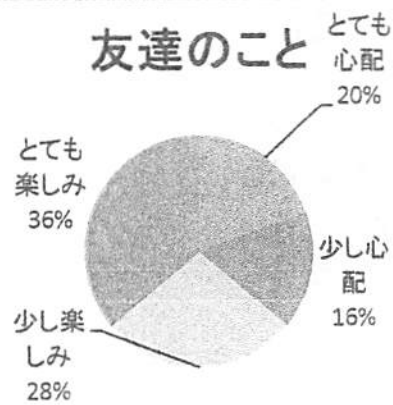
勉強のこと



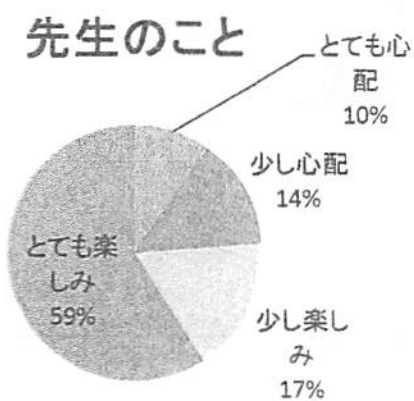
友達のこと



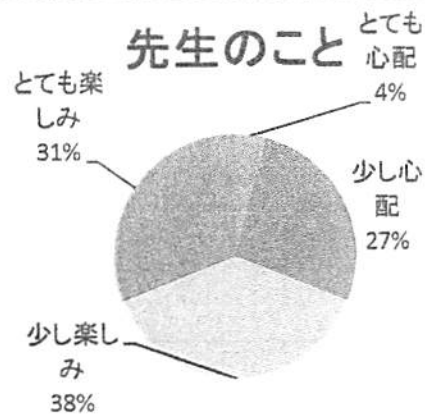
友達のこと



先生のこと

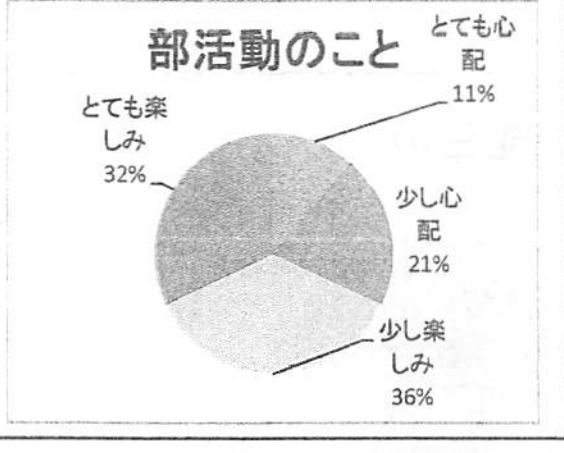
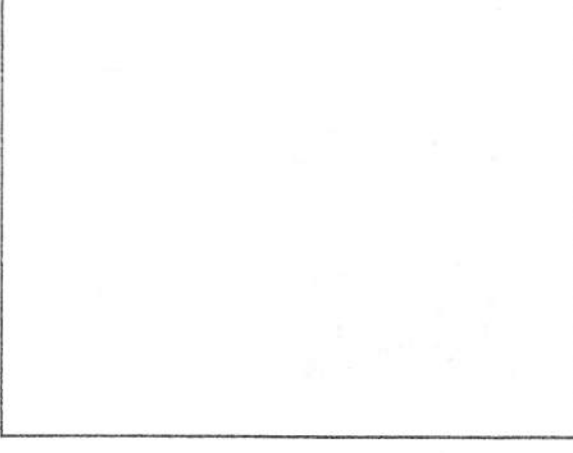
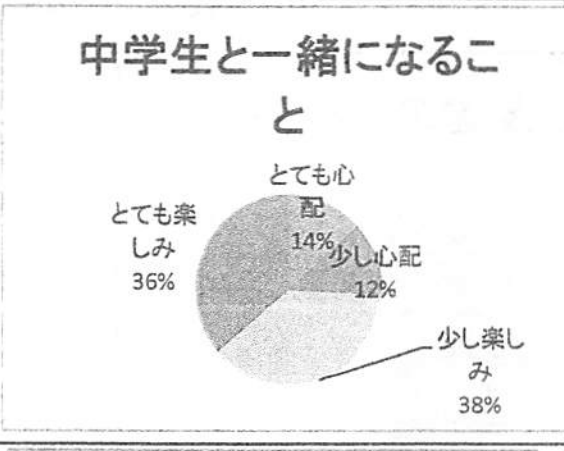
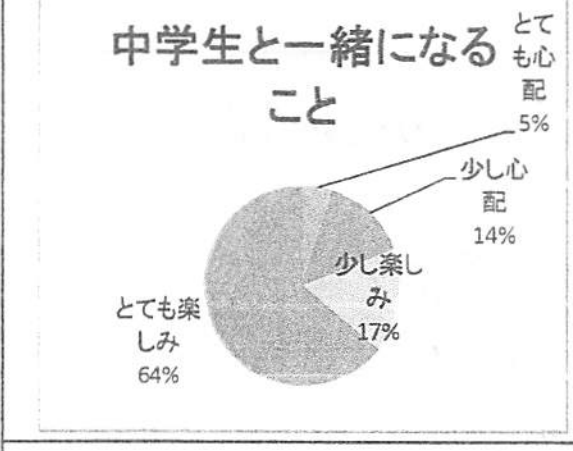
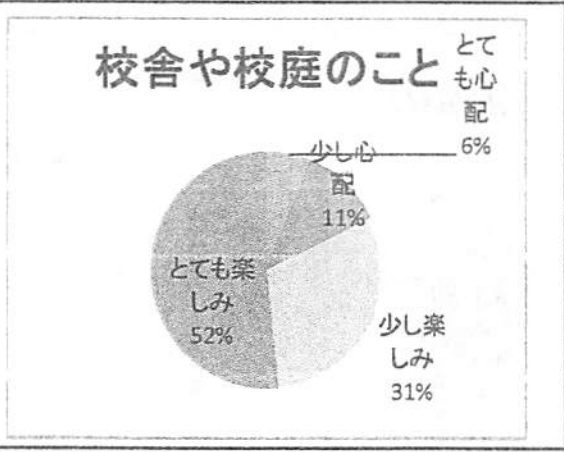
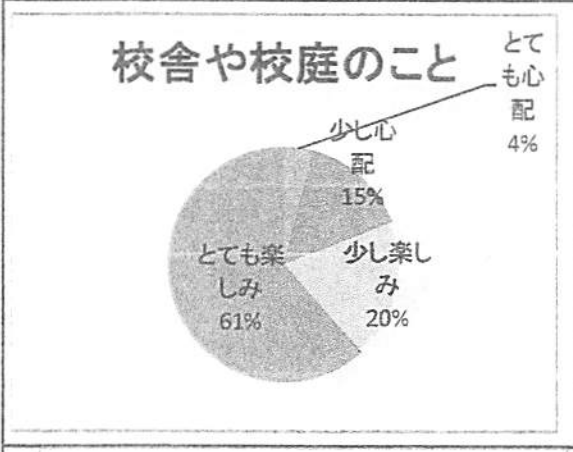
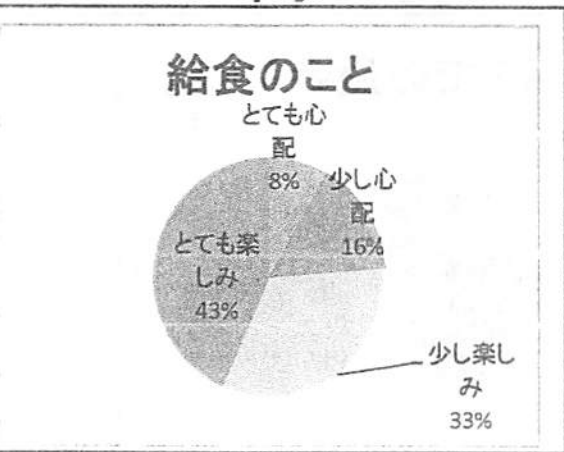
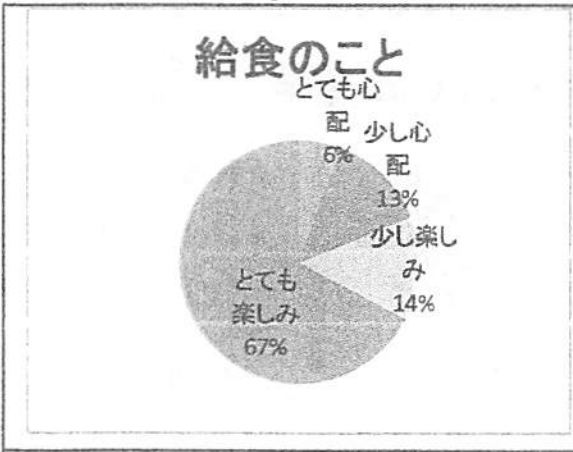


先生のこと



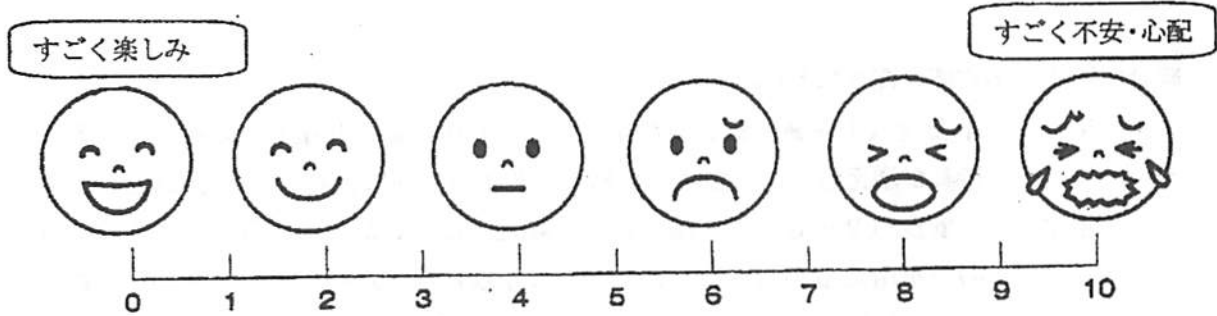
低

高



統合について・・・今のあなたの気持は？

0から10のあてはまる番号に○をしましょう。



その理由はなんですか？

- ・お友達がふえるから
- ・お友達と上手く付き合えるか
- ・先生や学校と別れるから
- ・さみしいから
- ・今のクラスのお友達と離れるから
- ・新しい学校はどんなところなのか
- ・新しい学校に慣れるかどうか
- ・ケンカがないか

その他に理由があれば書いてみましょう

平成28年12月3日

統合による、子どもたちの心の変化と対応について

小学校

スクールカウンセラー

統合に関する不安感の聞き取り(5月)

- 1、2年生 不安度(1~4) 新しい友達ができたり保育園の友達と会える。楽しそう遊具が増えるかも。自分の気持ちがちょっと間に合わない。悲しい。
- 3、4年生 不安度(2~8) 保育園の時、一緒だった友達がいるから又会える。男の子が増えるからうれしい。どんな学校になるか心がどきどきする。新しい学校に慣れるかな?学校がなくなるのはさみしい。先生方と離れるのはいや。悲しい。
- 5年生 不安度(1~4) 学校がなくなるのは悲しい。新しい学校で喧嘩があるといやだな。

悲しみをかみしめることの意味

悲しみに直面した時の3段階

「否認」→「絶望」→「受け入れ次へ」

このステップを飛ばしてしまうと、悲しみが消化されずに溜まってしまう。無理に次のステップに進めようとしな。子どもが悲しんでいる時間を認めてあげる。表面上は元気に見えてもあとあと問題がでてくる場合があります。必要なステップなんだと思きましょう。

SOSを発するのが苦手

子どもは親に心配をかけまいと、ネガティブな気持ちや出来事を隠そうとすることがあります。「なんでもないよ」といいながら楽しい話が出てこない場合は、自分の中で何かを我慢している可能性がありますから、無理に聞き出さず、話したくなるまで待つ姿勢も大切です。

ことばで発信されなくても、普段の様子から気がついてあげられるように、日常会話はしっかりと行いましょう。

SOSの最初のサイン

“笑顔”です。笑顔が少なくなったと感じたら気をつけて見守る必要があります。

どうしても話づらそうなら、子どもが思いっきり遊べる環境へ連れ出してみましよう。

普段から室内で遊ぶのが好きだと、外へ連れ出す機会が減ってしまいますが、新しい遊びを親も一緒に見つけるつもりで、海や山、広い公園など、行ったことのないところで、

わかりやすいコミュニケーションについて

コモンセンスペアレンティングより

“しつけとは親が子どもに行うトレーニング、教育、そして説明です。”

しつけの良い面、誉めることや励ますといった面も思い出しましょう。

- ①子どもに自分自身をコントロールする方法を教えること
- ②適切なしつけにより、子どもは自分自身をコントロールし、家族や社会の一員として、どのように振舞えばよいのかをより学習しやすくなります。

“行動とは見たり、聞いたり、数えたりすることができる具体的なものです。”

- ・ 具体的表現 行動を～かつ簡潔に
- ・ 肯定的表現 ～するな→～しよう
- ・ 代替行動
- ・ 共感的表現 □□したい気持ちはわかるけど〇〇しようね
- ・ 状況（環境）をつくる
 穏やかに 近づいて、静かに

問、子どものどのような行動にわかりやすいコミュニケーションを使い親の思いを伝えたいですか？

行動

1

2

3

4

美味しい物を食べる。などいつもと違うことを楽しみましょう。好きな習い事があるならば、それをさせるのもよいです。子どもが自由に表現できる場所を一つでもよいので持たせてあげるとよいです。

態度に現れるSOS

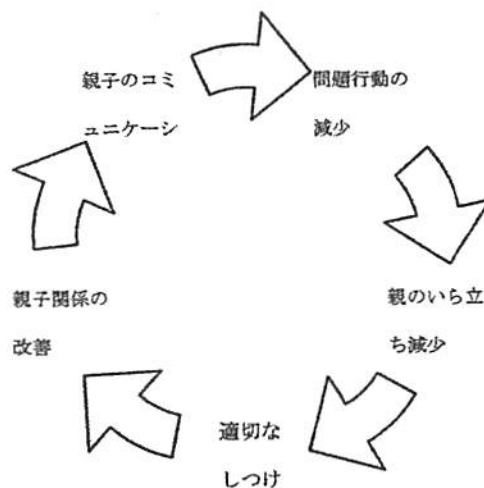
- ・ それまで好きだったものに興味を示さなくなる。
- ・ 目をあわせて話をしない。
- ・ 部屋にこもりがちになる。
- ・ 怒りっぽくなったり、泣きやすくなったり、感情の波が大きい。
- ・ 物や人に八つ当たりする。扱いが雑になったりする。
- ・ 目つきがキョロキョロして落ち着きがなくなる。

上記のような変化がみられたら新しい環境に何らかのストレスを感じている可能性があります。その時の気持ちを受け止めて聞いてやることで、悩みなどがあっても、前に進むことができます。

一過性のもので、おさまっていくと思われませんが、症状が強くなったり、長く続くようであれば、担任やスクールカウンセラーに相談をしましょう。

統合前にできる事

- ・ 新しい学校を見学に行く。
- ・ 小学校と少しずつプロセスを踏んでお別れをする。今日は最後のマラソン大会。閉校式など(写真を撮る)
- ・ ストレス耐性を高めることができるように、子どもとのコミュニケーションを大切にす



- ・ グッドサイクル

付録 2

ママ... 子育てにエールを送る

だいじょうぶ!! 

子どもに伝わってますか?
 <具体的にわかりやすく伝える>

「**ちゃんとしなさい!
ママはずがしいひょう!**」

来客編

「お客様が来る時は
ごんごちはとあひつて
おへやに入つてね!」

お買物編

「スーパーできょうは
いい子にしててね!」

「きょう、オツは買おなよ。
おうちにあるからね!
「かてー!おひ!」って
言おないでね。」

「よし! ちがう
言いか
しなさい!」

こちらに伝えているつもりなのに
同じ行動を繰り返されているとき...
もしも、子どもに正しく伝わって
ないかもしれないね!!

のぐちふみこ(神戸市の町保社)

付録 3

ママ... 子育てにエールを送る

だいじょうぶ!! 

子どもに伝わる状況ですか?
 <子どもを見て話しましょう>

=パターン①=

「ごはん...
TVは消さね!
TVは消さ!」

「ボク
1回しかきえて
たのね...」

「**ママに
なんど言わあ!**」

=パターン②=

「ごはんじから
TVは消さうな!」

「うん
わがは!」

いくら言っても子どもが動かないとって、
ないでしようか? その時、どんな状況がE
考えてみると、本当に聞かなくて
ないかも...!! 子どもを見て話すと
伝わりやすくなります!

のぐちふみこ(神戸市の町保社)

付録 4

ママ... (子育てにエールを送る) だいじょうぶ!! ⑥

「ダメ!ダメ!って言ってませんか?」

「妹のものを『ダメ』をしよう!」

「宿題もせうに『ダメ』をしよう!」

NG ↓ OK

「使いたいときは 妹に、使っ、ていいか きいてね!」

「学校の帰る ぎふ、すぐに 宿題を しようね!」

「『ダメ』という 禁止の言葉 より『～しようね』という 期待を子どもに 伝えましょう! (のぐちのみこ (神戸市の町))」

付録 5

ママ... (子育てにエールを送る) だいじょうぶ!! ⑦

《良くない行動をやめさせるコツ》

「レ、いまでも 赤ちゃんが泣いたら 泣くのはやめなさい! バカじゃないの!!」

「りっちゃん、そんなふうに 足をドンドンさせたり 泣いてばかりじゃ ママわからないわ...」

皮肉的、または子どもを責めるような言葉は 子どもの自己イメージを下げてしまいます。 具体的に、子どものやめたい行動を表現しましょう。

私も、行っている、つい口が悪くなるから... 気を付けよう!

のぐちのみこ (神戸市の町 保健士)

ちやうなんしやうがつかう
長南小学校 アンケート

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前

いっかげつ たって、こま 困っていることやたの 楽しいことなどをおしえてください。

	こま 困っている	すこ 少 困っている	すこ たの 少 楽しい	たの 最も 楽しい
1 バスでの ^{つうがく} 通学	1	2	3	4
2 ^{べんきやう} 勉強のこと	1	2	3	4
3 ^{とも} 友だちのこと	1	2	3	4
4 ^{せんせい} 先生のこと	1	2	3	4
5 ^{きやうじやく} 給食のこと	1	2	3	4
6 ^{かうしや こうてい} 校舎や校庭のこと	1	2	3	4
7 ^{ちやうがくせい} 中学生といっしょになること	1	2	3	4
8 ^{ぶ かつどう} 部活動のこと (^{ねんせい い じやう} 4年生以上)	1	2	3	4

○ ^{いま}今、^{こま}困っていることはありますか。

() ある () ない

○ 「ある」と^{こた}答えた^{ひと}人にききます。どんなことですか。また、それはどうしてですか。

○ ^{いま}今、^{たの}楽しいことはありますか。

() ある () ない

○ 「ある」と^{こた}答えた^{ひと}人にききます。どんなことですか。また、それはどうしてですか。

個別の教育支援計画（例）

資料 6 - 1

年	児童名	生年月日	年	月	日
保護者氏名					
住所・連絡先					
記載者・記載日	・ 年 月 日				
担任					
障害の状況 (生育歴・相談歴・受けた検査の種類や結果・これまでの関係機関など)					
児童の実態 (学習面・行動面・社会性・その他を必要な項目について具体的に記入する。)	(変化した部分は随時、記入日を入れて追加する。弱い部分だけでなく、強い点についても記入を忘れない。)				
本人・保護者の願い	(現在の生活、将来の生活についての希望や願いについて)				
必要と思われる支援 (学校・家庭)	子どもが困っている時の様子やしぐさや言動など、どのような場面で誰が、どんな支援や指導を行うか。校内委員会や関係者の話し合いの結果を記入する。良さを伸ばす視点も含めて。	主な合理的配慮の内容			
関係機関の連携 (教育・医療・福祉など)	教育機関・医療機関・福祉機関などの情報。連絡先や担当者などの所見、支援内容について記入する。				
評価・引継ぎ事項	教育的支援の成果・課題、次年度への引継ぎ事項を記入する。				
		(月 日保護者氏名 印)			

この「個別の教育支援計画」を関係機関と連携し活用することに同意します。

平成 年 月 日

保護者氏名

印

個別の指導計画

作成 平成 年 月 日 記入者

年	児童氏名	年	月	日	生	才
問題となる行動 (いつ・どこで・なぜ起こるか)					生育歴	
実 態	運動操作 (指先・協応動作など)	得意なこと	苦手なこと	社会性 (コミュニケーション)		
	友だち関係	指示の理解は?	こだわりはあるか?	学習について		
どんな支援が必要か						
長期目標						
短期目標						
	前期	反省	後期	反省		
生 活						
学 習						
社 会 性						
保 護 者 の 願 い						

主に課題となっていること

支援の方針

学級担任の支援

隣接学年担任の支援

管理職の支援

年
氏名

その他の支援

特別支援の支援

養護教諭による支援

それぞれが支援をしてどうだったか？

今後は？

食物アレルギー

小学校

新学年	名前(ふりがな)	性別	アレルギーの原因	給食対応状況	学校での対応状況	受診状況	医療機関名
				1. 受給停止(全て) 2. 希望日のみ受給停止 3. 牛乳のみ停止(全て) 4. 資料提供 (予定献立表・日次献立表・ 食品成分表) 5. デザートの代替え		最終受診日__月 日__次回受診予 定 6カ 月後・12ヵ月後	
						最終受診日__月 日__次回受診予 定 6カ 月後・13ヵ月後	
						最終受診日__月 日__次回受診予 定 6カ 月後・14ヵ月後	
						最終受診日__月 日__次回受診予 定 6カ 月後・15ヵ月後	

分類	品名	東			西			長南			豊栄		
		シールの色	購入年月日	数量	シールの色	購入年月日	数量	シールの色	購入年月日	数量	シールの色	購入年月日	数量
救急処置	血圧計					H25.5.2	(1)				赤	H8.4.30	1(水銀)
	血圧計												
	消毒盤27型												
	消毒盤												
	外科用ピンセット			2			2						
	とげ抜き	/		1			1						
	鉗子立て	27		27			1						
	冷蔵庫								H9.5.23	(1)	赤	H19.5.16	1
	タオル掛けスタンド												
	汚物缶						1						
	担架												
	担架収納ケース						1						
	救急箱(ケースのみ)										赤	H4.9.16	(1)
	救急箱(0W-1)												
	救急カバン						1						
救急カバン													
救急カバン													
カラーワゴン(ホスピタルワゴン)	赤	H23.7.15	(1)		S61.7.8	1		H17.6.16	1				
診察用寝台													
人工呼吸用エイドマスター										赤	H13.9.6	1	
足台(脚治療用踏み台)							1			赤	H2.7.2	(1)	
健康診断	身長計												
	ハイデジタル大型身長計	赤	H10.6.10	(1)									
	オムロン体重脂肪計 BF-350												
	デジタル自動体重計	赤	H21.9.7	(1)		H12.5.6	1			赤	H10.5.28	1	
	デジタル座高計												
	視力検査器(試視力表照明装置)								H22.6.11	(1)			
	オージオメーター					委員会	1		H10.8.31	1			
	脊柱側彎基準器			1									
色覚異常検査表			1										
東大式照明灯			1							赤	H9.6.3	1	